

令和元年度 一般・特別会計決算を認定

一般会計

歳入 120 億 1,225 万円 (9.69%増)
歳出 116 億 7,686 万円 (9.47%増)

特別会計

歳入 80 億 3,907 万円 (1.73%増)
歳出 72 億 4,505 万円 (2.13%増)

() 内平成 30 年度比

9 月
定例会

令和 2 年第 3 回定例会が 9 月 4 日から 18 日までの 15 日間の会期で行われた。初日(4 日)は、令和元年度決算認定 10 議案について決算特別委員会を設置し、その審査を付託した。また、条例の一部改正や令和 2 年度一般会計及び特別会計補正予算等 8 議案については提案理由の説明を受け常任委員会に付託した。他に教育委員会委員 1 名の任命及び人権擁護委員 3 名の推薦に同意し、養老町 G I G A スクール構想における端末整備事業契約の締結及び O A パソコン購入事業の契約の締結について可決した。2 日目(17 日)は、7 議員が一般質問を行った。最終日(18 日)は、令和元年度決算認定について委員長から審査報告を受け、すべて原案のとおり認定した。そのほか、条例の一部改正や令和 2 年度一般会計及び特別会計の補正予算等 8 議案についてもすべて原案のとおり可決した。また、議員発議である新型コロナウイルス感染症に関する意見書 2 件についても、可決した。

9 月 7 日・8 日の両日にわたり決算特別委員会を開催し、令和元年度一般会計及び 9 の特別会計の決算について集中審査を行った。その結果、委員会では全ての決算を認定すべきものと決定した。その中から、会計ごとにいくつかの質疑を報告する。

決算特別委員会

委員長 長澤 龍夫 副委員長 北倉 義博

一般会計

移住定住促進事業の実績は

子育て世帯住宅取得支援事業 4 件、95 万円。二世代同居・近居住宅取得支援補助金 23 件、620 万円。若者定住マイホーム取得支援事業補助金(U ターン) 2 件、50 万円。孫育てサポート補助金 1 件、4 万 5000 円。

所有者不明土地の固定資産税の不納欠損の件数、金額は。

公示送達分として、不納欠損は 26 件、127 万 3131 円。

固定資産税の不納欠損のうち、会社が倒産し、破産管財人も解散して、送り先がないものにも課税している。今後の考え方は。

税法上は課税するが、課税を保留している市町もあるため、それらを参考に今後検討したい。

町税のクレジット収納の利用件数(利用率)、納付金額は。

町県民税 118 件(0・86%)、292 万 7900 円。固定資産税 356 件(0・7%)、609 万 5100 円。軽自動車税 133 件(1・0%)、95 万 5100 円。

現在の個人番号カードの交付枚数と交付率は。

令和 2 年 8 月 23 日現在、交付枚数 3655 枚、交付率 12・79%。

養老公園夜桜ライトアップの委託費の内訳と来場者数は。

30、31 年度の 2 箇年事業(3 月 30 日から 4 月 7 日に開催)の事業費 2085 万 1293 円のうち、30 年度が町 921 万 1293 円、県 860 万円、31 年度が町 214 万円、県 90 万円であった。また、来場者数は 1 万 8150 人。

住宅使用料の収入未済額 4652 万 388 円の内訳は。

内訳は改良住宅の使用料(現年分) 143 万 9200 円、町営住宅使用料(現年分) 139 万 1400 円、滞納繰越分が町営住宅と改良住宅を合わせて 433 万 2986 円、その他水道料及び使用料 29 万 6802 円。



雑入の収入未済額 42 万 7681 円の内容は。

過去に改良住宅を強制退去させた際に、清掃等を町が代執行した分が未納として残っている。

国際学習会館費の負担金及び交付金の未済額 150 万円の内容は。

当初予定していたバートゾーデン市長夫妻の来町中止や、民間バス利用から町のバス利用に変更でき、経費等も削減できた。

学校・家庭・地域連携協力推進事業の未済額の要因は。

スマイルゲンちゃん学習会において、学習支援員の欠席や年度末のコロナの影響により開催出来なかったことから謝礼等が不用となった。

小学校管理事務の未済額 1318 万円の内容は。

3 月 2 日からの学校休業に伴い光熱費が 477 万円、また、臨時職員、特に給食調理員の必要数を確保することが難しく、賃金 628 万円が不用となった。

特別会計

●国民健康保険特別会計

資格者証及び短期証の交付件数は。

資格者証は昨年 10 月以降発行していない。短期被保険者証は令和 2 年 9 月 1 日現在 176 世帯、309 名。内訳としては、1 箇月証が 81 世帯 133 人、3 箇月証が 48 世帯 71 人、6 箇月証が 47 世帯 105 人。

差押えの実績は。また、コロナに関する減免等の実績は。

差押えの実績は、不動産 1 件、国税還付金 5 件、給与 1 件、年金 3 件、預貯金 6 件、生命保険 6 件の計 22 件、換価金額 193 万 4735 円。コロナに関する減免は、8 月末現在、申請 4 件、許可 3 件、減免額 34 万 8100 円。なお、猶予に関しては、許可 17 件、188 万 4900 円。

●食肉事業センター特別会計

新食肉基幹市場の進捗状況は。

庁内では最終的な有力候補地が決まり、用地取得等に関する庁内を横断したチームを作り進めている。庁外では食肉基幹市場建設促進協議会の議論も進んでいる。

一般会計

移住定住促進事業の実績は

子育て世帯住宅取得支援事業 4 件、95 万円。二世代同居・近居住宅取得支援補助金 23 件、620 万円。若者定住マイホーム取得支援事業補助金(U ターン) 2 件、50 万円。孫育てサポート補助金 1 件、4 万 5000 円。

所有者不明土地の固定資産税の不納欠損の件数、金額は。

公示送達分として、不納欠損は 26 件、127 万 3131 円。

固定資産税の不納欠損のうち、会社が倒産し、破産管財人も解散して、送り先がないものにも課税している。今後の考え方は。

税法上は課税するが、課税を保留している市町もあるため、それらを参考に今後検討したい。

町税のクレジット収納の利用件数(利用率)、納付金額は。

町県民税 118 件(0・86%)、292 万 7900 円。固定資産税 356 件(0・7%)、609 万 5100 円。軽自動車税 133 件(1・0%)、95 万 5100 円。

現在の個人番号カードの交付枚数と交付率は。

令和 2 年 8 月 23 日現在、交付枚数 3655 枚、交付率 12・79%。

養老公園夜桜ライトアップの委託費の内訳と来場者数は。

30、31 年度の 2 箇年事業(3 月 30 日から 4 月 7 日に開催)の事業費 2085 万 1293 円のうち、30 年度が町 921 万 1293 円、県 860 万円、31 年度が町 214 万円、県 90 万円であった。また、来場者数は 1 万 8150 人。

住宅使用料の収入未済額 4652 万 388 円の内訳は。

内訳は改良住宅の使用料(現年分) 143 万 9200 円、町営住宅使用料(現年分) 139 万 1400 円、滞納繰越分が町営住宅と改良住宅を合わせて 433 万 2986 円、その他水道料及び使用料 29 万 6802 円。



で、平成 12 年から平成 24 年までの計 54 件分である。

●介護保険事業特別会計

介護保険料滞納者へのサービスの状況は。

滞納者は介護サービスを受けられないため、分納誓約を結ぶ等の対応をしている。

総合事業の受け皿となる事業所の見解は。

現在、社会福祉協議会と協議している、移動支援、買い物支援を考えている。

地域包括支援センターの認知症対策の実績は。

認知症予防教室として、キラリ！脳活教室は 12 回開催し、男性 2 名、女性 16 名が参加、脳活リーダー研修は

第 7 期の介護保険料改定により、当町は県内 6 番目に高い保険料となっているが、8 期に臨む姿勢は。

第 7 期では小規模多機能型居宅介護の建設が予定されていたが、保険料が上昇したが、今年 4 月から介護医療院が西美濃厚生病院で開所されたので、その給付と合わせてどうなるか検討中である。

